

【福岡女学院教会 主日家庭礼拝】

2023. 6. 11.

聖霊降臨節 第3主日

黙想(黙祷)

招詞 わたしは新しい心をあなたがたに与え、  
新しい霊をあなたがたの内に置く。  
これは主の御業、わたしたちの目には驚くべきこと。  
(『讃美歌21』93-1-49)

讃美歌 7 (ほめたたえよ、力強き主を)

主の祈り

讃詠 28 (み栄えあれや)

聖書 使徒言行録 2章22節～28節  
(新約 216頁)

信仰告白 使徒信条

メッセージ 「ナザレの人イエスこそ」

多田玲一牧師

祈禱 ※それぞれ自由にお祈り下さい

讃美歌 342 (神の霊よ、今くだり)

頌栄 27 (父・子・聖霊の)

黙想(黙祷)

◎ 讃美歌は歌詞を読むだけでも結構です。

【主の祈り】 (『讃美歌21』93-5-A)

天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあげさせたまえ。  
み国を来(きた)らせたまえ。  
みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ。  
我らの日用(にちよう)の糧(かて)を、今日も与えたまえ。  
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく  
我らの罪をもゆるしたまえ。  
我らをこころみにあわせず、悪より救い出(いだ)したまえ。  
国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり。  
アーメン

【信仰告白 使徒信条】 (『讃美歌21』93-4-A)

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。  
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。  
主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生れ、  
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、  
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、  
三日目に死人のうちよりよみがへり、  
天に昇り、全能の父なる神の右に坐したまへり、  
かしこより来りて、生ける者と死ねる者とを審きたまはん。  
我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交はり、罪の赦し、  
身体のよみがへり、永遠の生命を信ず。アーメン。



日本基督教団 福岡女学院教会

牧師 多田玲一

協力牧師 青木麻里子、大島一利

〒811-1321 福岡市南区柳瀬1丁目41-32

TEL 092-591-5627 (Fax 兼)

教会ホームページ [http:// www.fukujoch.com/](http://www.fukujoch.com/)

(教会創立 1946年6月2日)



- 22 イスラエルの人たち、これから話すことを聞いてください。  
ナザレの人イエスこそ、神から遣わされた方です。神は、イエスを通してあなたがたの間で行われた奇跡と、不思議な業と、しるしとによって、そのことをあなたがたに証明なさいました。あなたがた自身が既に知っているとおりで。
- 23 このイエスを神は、お定めになった計画により、あらかじめご存じのうえで、あなたがたに引き渡されたのですが、あなたがたは律法を知らない者たちの手を借りて、十字架につけて殺してしまっただけです。
- 24 しかし、神はこのイエスを死の苦しみから解放して、復活させられました。イエスが死に支配されたままでおられるなどということは、ありえなかったからです。
- 25 ダビデは、イエスについてこう言っています。  
『わたしは、いつも目の前に主を見ていた。  
主がわたしの右におられるので、  
わたしは決して動揺しない。
- 26 だから、わたしの心は楽しみ、  
舌は喜びたてる。体も希望のうちに生きるであろう。
- 27 あなたは、わたしの魂を陰府に捨てておかず、  
あなたの聖なる者を  
朽ち果てるままにしておかない。
- 28 あなたは、命に至る道をわたしに示し、  
御前にいるわたしを喜びで満たしてください。』